

国語 第3学年 ことわざ・故事成語 検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：ことわざと故事成語の意味を調べ、その言葉が合う出来事を自分で考える。由来の話と現在の使い方を区別する。B(1)エの学習として、語の意味と出典、意味が合う自作の短い場面、合うと判断した理由。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、文章を読み返し、伝えたい場面とことわざや故事成語の意味が合うかを確認めているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。B(1)エの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：語の意味と出典、意味が合う自作の短い場面、合うと判断した理由を残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、B(1)エに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：つまり児童にはどんな支援をするか。

返し：登場する物を含む出来事ならどんな場面にも使えると考える、由来を未確認のまま創作する。これに対して、教師が辞典で意味と由来を確認した語を扱う。独自例として「急がば回れ」を、単に道を遠回りした場面ではなく安全な方法を選んだ場面と比べる。〔知識及び技能〕(3)イとB(1)エを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「この出来事にこの言葉を使うと、何を伝えられますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、B(1)エに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：語の意味と出典、意味が合う自作の短い場面、合うと判断した理由は紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をB(1)エの評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。B(1)エで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：この教材で、練習と使えるようになった姿をどう分けるか。

返し：教師が辞典で意味と由来を確認した語を扱う。独自例として「急がば回れ」を、単に道を遠回りした場面ではなく安全な方法を選んだ場面と比べる。完成品だけでなく、語の意味と出典、意味が合う自作の短い場面、合うと判断した理由。を見て、確かめ方と変えた理由を判断する。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「この出来事にこの言葉を使うと、何を伝えられますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。B(1)エに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

